

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度 37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域広報誌に掲載			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約5名	校区活動経験	あり(経験豊富)
	校区での立場	民生児童委員、その他		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況 37の地域交流施設のなかでは、連携がよくできている交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること 地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている 地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無			作成していない
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	広報誌などを通じて、ボランティアや運営に関わる人を募集している。 事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。 事業者側が主催する各種事業で運営や企画を担ってもらっている。 併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	校区内に小サロンを設置している		
	小サロンの数	1件	場所	団地集会所
	開催数	1サロンにつき月2回、20人程度が参加	運営主体	校区住民

【地区住民のポテンシャル】

17.	地区校区の住民活動について 22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が特に活発である			
18.	校区の住民活動について 22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がとともある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか) 交流施設参加者が直接サービスに結びつくケースが多い			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

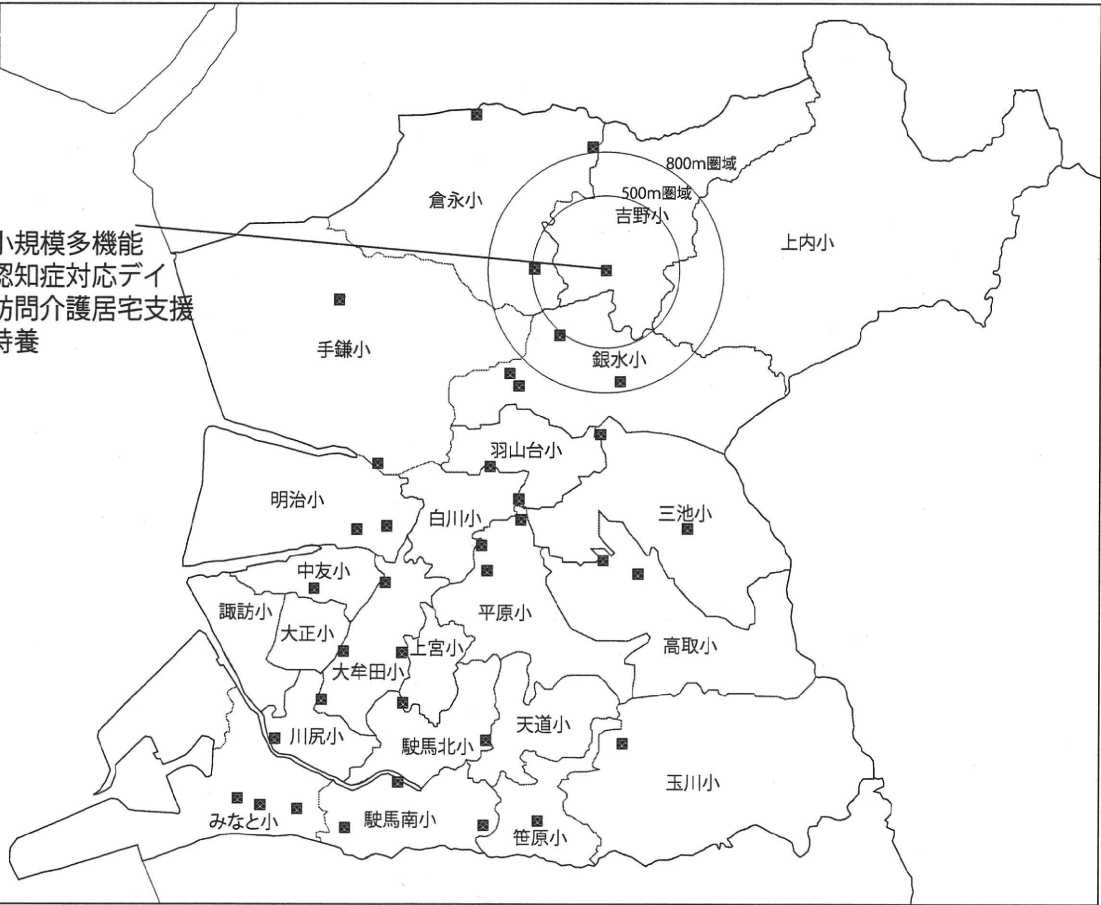
20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	有	有の場合	7件	
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望 無			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望 無			

大牟田市全域

1 : 25000

なごみ
併設機能
母体施設

小規模多機能
認知症対応デイ
訪問介護居宅支援
特養

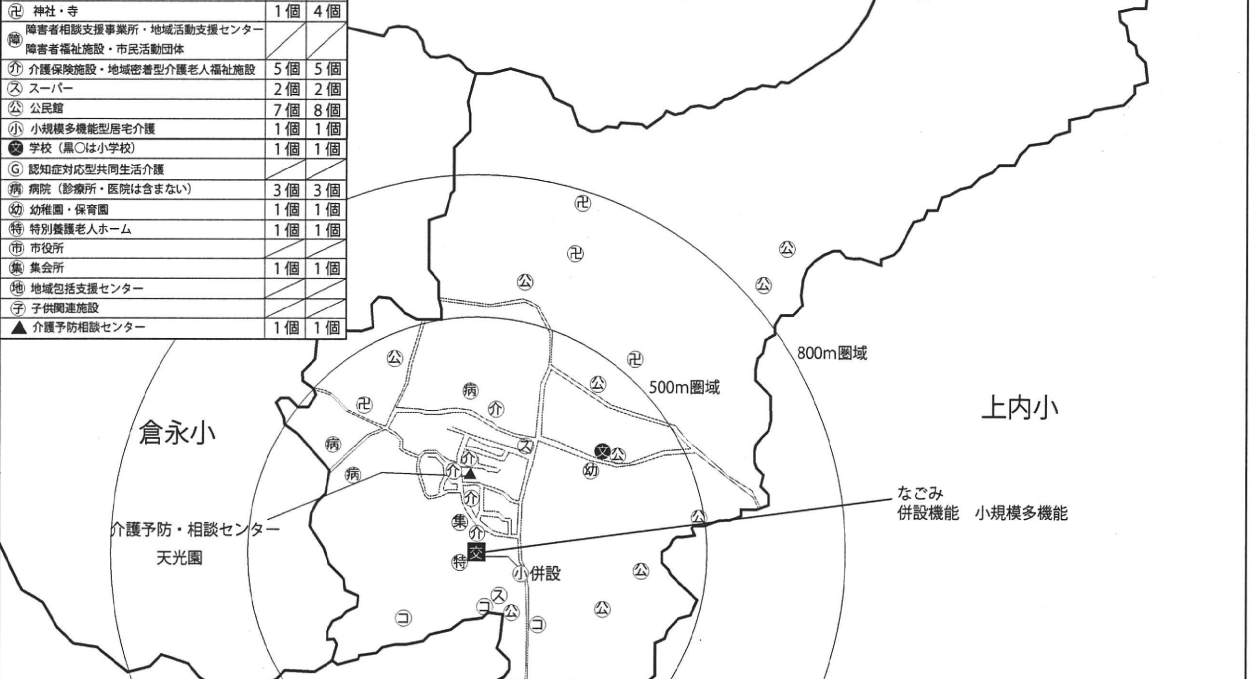


吉野小学校区

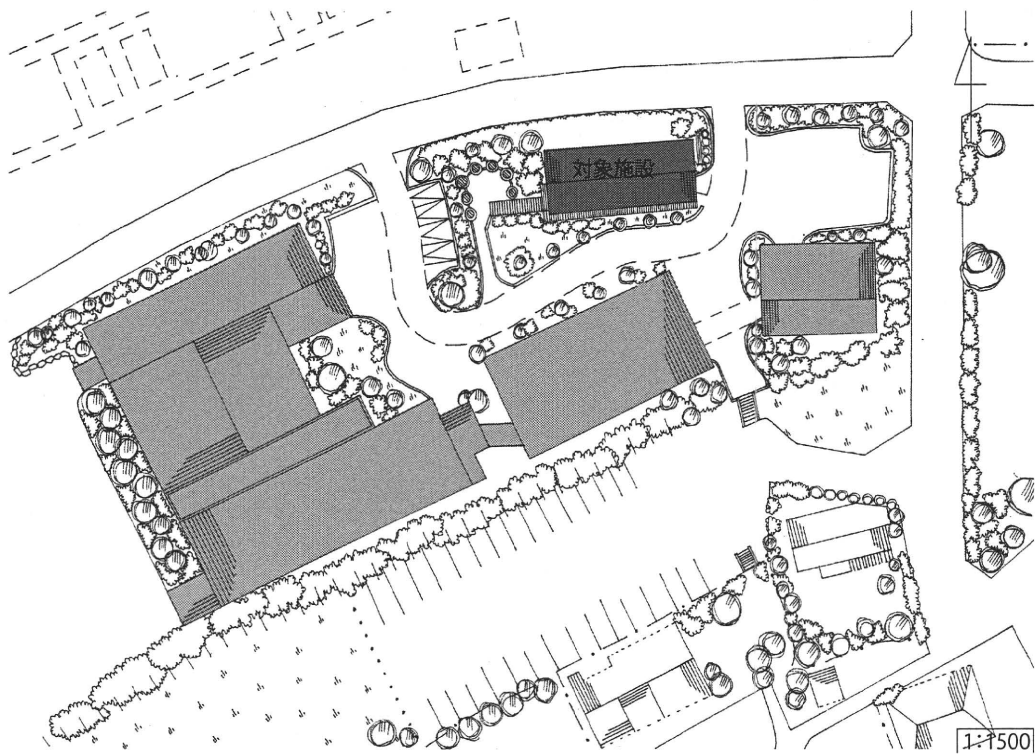
1 : 8000

圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	1個	1個
コンビニ	3個	3個
神社・寺	1個	4個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	5個	5個
スーパー	2個	2個
公民館	7個	8個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	3個	3個
幼稚園・保育園	1個	1個
特別養護老人ホーム	1個	1個
市役所		
集会所	1個	1個
地域包括支援センター		
子供園遊施設		
介護予防相談センター	1個	1個

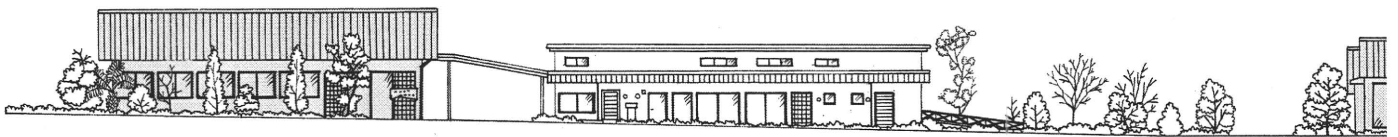
福岡県
みやま市



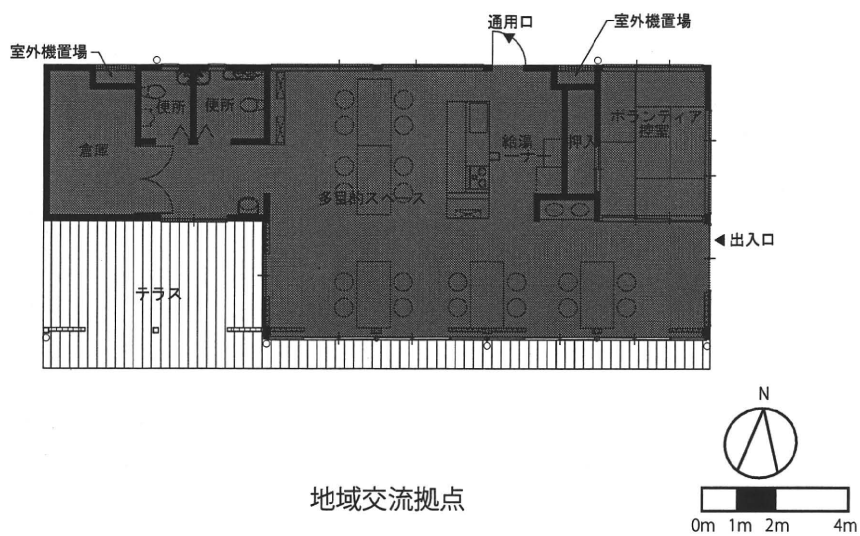
人口	8218人	老人クラブ加入率	1.33%
65歳以上の高齢者数	2473人	公民館加入率	17.3%
単身高齢者世帯数	687人	投票率	57.1%



和 配置図



和 北側立面図 1/400



地域交流拠点

地域交流スペース面積：180.00㎡

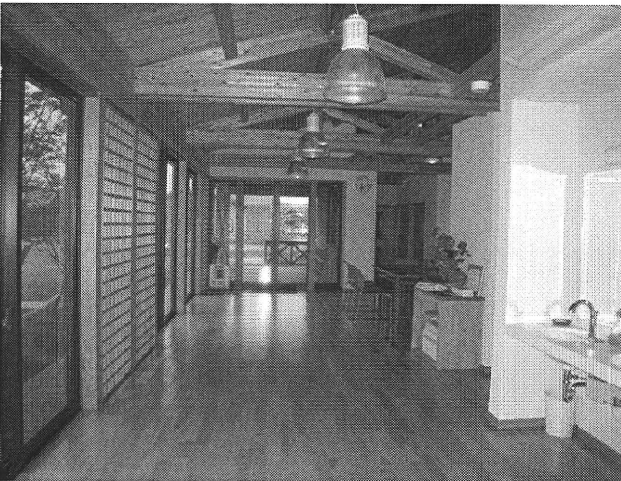
和平面図 1/200



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点内部



④交流拠点内部



⑤周辺外観



⑥周辺外観

校区	銀水校区	交流拠点名	ふれあいセンター尾尻
		法人名	尾尻ネットワーク見守り隊

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年11月開設	
2.	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1100万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無	
	有の場合:交流拠点と同一施設内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れにくいと思う	
その理由:車の駐車場がなく、町内の活用が主になっている。			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	5名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	未回答	
	2人目	未回答	
	3人目	未回答	
	4人目	未回答	
5.	平成21年度の運営費	収入:1.7万円	支出:15.2万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	11	57	826	0:0:11:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	5:6	2:0:9		5:4:2
定期的な活動はなく、不定期な行事が主体となっている。活動主体は地区公民館と校区社協である。地区公民館が主体となって活動としては、料理教室、おしゃべり教室が月1回程度の割合で開催されている。1回の参加者は10名程度である。また、地域住民が主体となった活動としてカラオケ教室がある。毎月開催されており、多世代の利用者が参加している。				
7.	開館方法	事業や活動がある時のみオープン。それ以外は施錠。必要に応じて開ける。		
	開館曜日			開館時間
	開館時の職員の常駐場所			
8.	毎月の延利用者数	約70名	利用者数増減	利用者数は横ばい
	大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け、多世代向け		参加形式)事前登録制	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			2回/月
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容			利用者数
ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			無	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		一般主婦	
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携ができていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設として公民館に加入している 地域交流施設の事業者側のキーパーソンが公民館の役職、地区社協の役職、民児委員などを引き受けている			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	校区内に小サロンを設置している		
	小サロンの数	1件	場所	ふれあいセンター尾尻
	開催数	1サロンにつき月1回、15人程度が参加		運営主体 校区住民

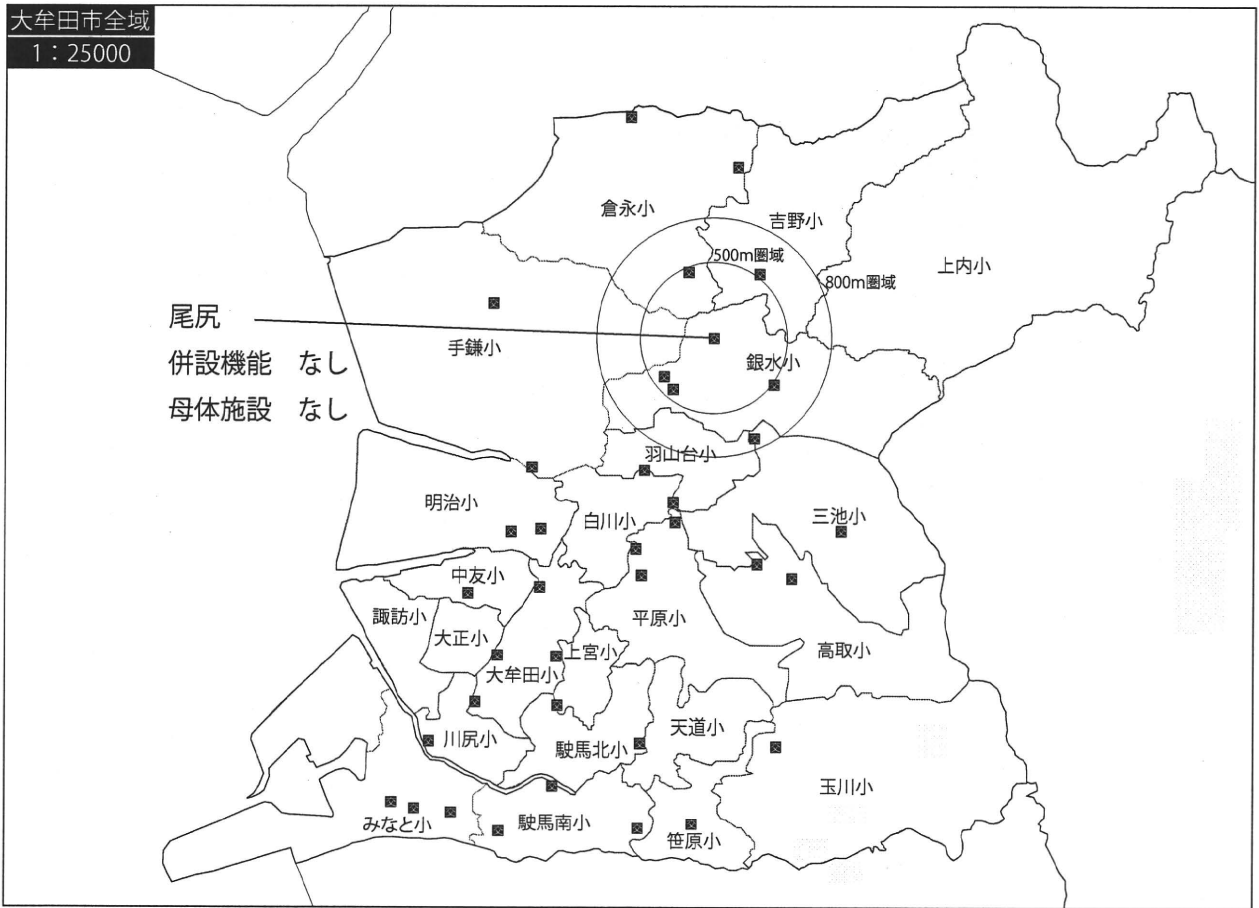
【地区住民のポテンシャル】

17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか			
	月に一度のおしゃべり会(旧老人会)があり、その話(会話)の内容により高齢者の安否など把握している			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	有	有の場合	3件	
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上にのみ寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域
1 : 25000

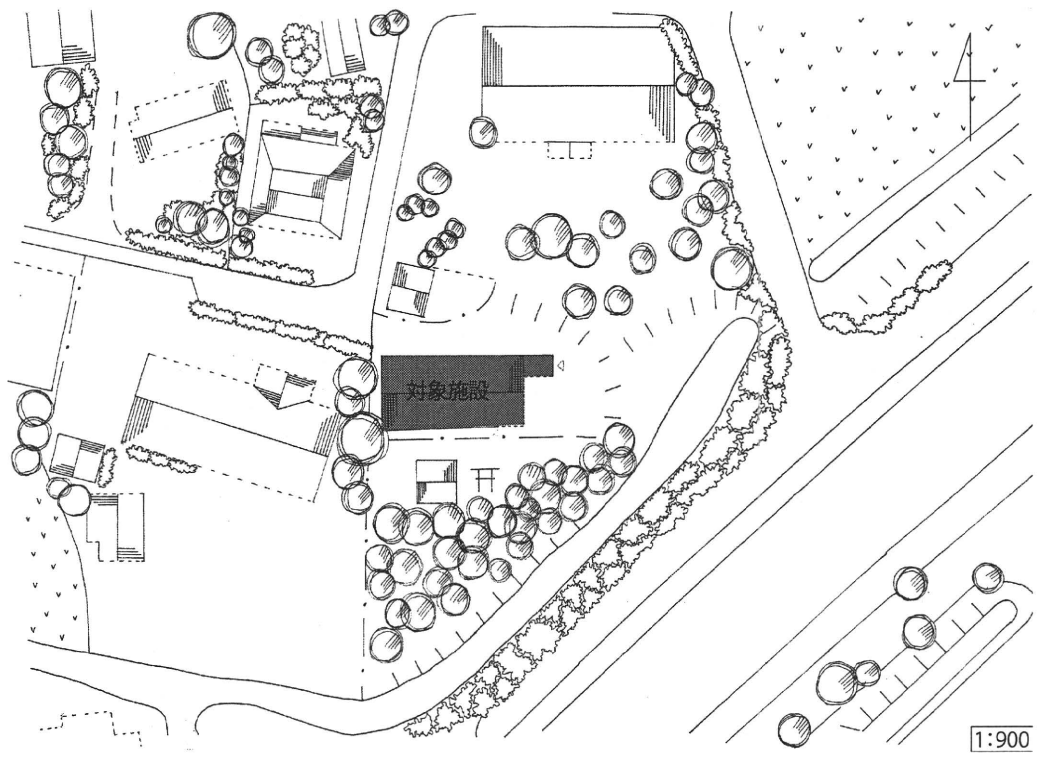


銀水小校区
1 : 8000

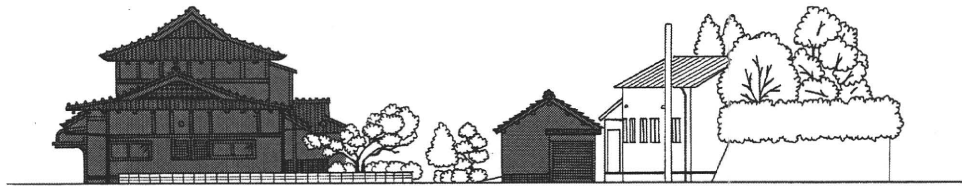


圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	4個
コンビニ	2個	4個
神社・寺	7個	8個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	6個	9個
スーパー	1個	2個
公民館	5個	
小規模多機能型居宅介護		
学校 (黒○は小学校)	3個	5個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	5個	8個
幼稚園・保育園	2個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供園遊施設		
介護予防相談センター	1個	1個

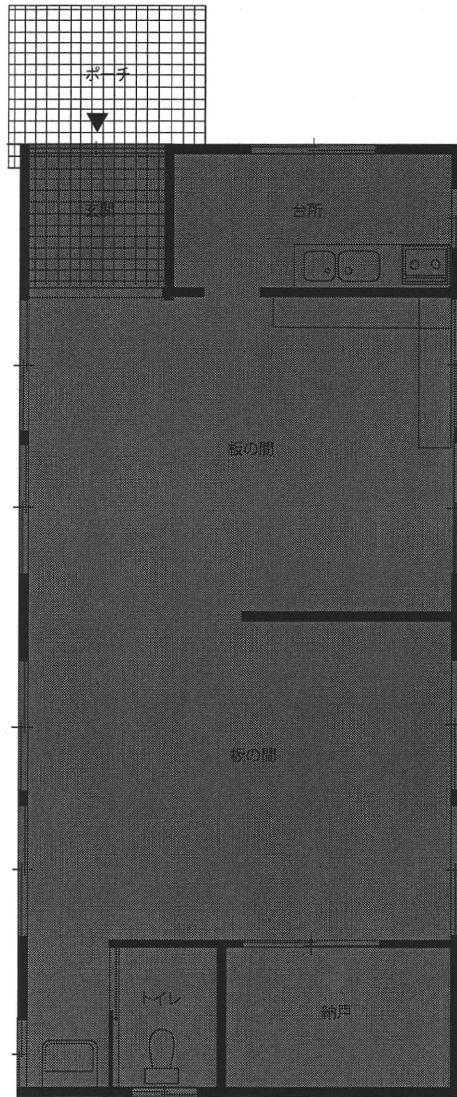
人口	10739人	老人クラブ加入率	6.10%
65歳以上の高齢者数	2802人	公民館加入率	30.9%
単身高齢者世帯数	753人	投票率	57.3%



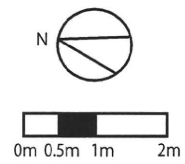
尾尻 配置図



尾尻 西側立面図 1/400



地域交流拠点



地域交流スペース面積：71.14㎡

尾尻平面図 1/100



①交流拠点外観



②交流拠点入口



③周辺写真（右側に交流拠点）



④交流拠点周り



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	銀水校区	交流拠点名	コムーネ
		法人名	(医)東翔会

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年9月開設	
2.	整備手法	既存建物を転用して整備	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:2750万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか その理由:国道に面している。駐車場が広い。	小規模多機能、認知症デイ 訪れやすいと思う	
3.	運営に関わる主なスタッフ数	4名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	兼任	ケアマネ 居宅介護支援との兼務
	2人目	兼任	介護福祉士 小規模多機能との兼務
	3人目	兼任	ケアマネ 居宅介護支援との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:90万円	支出:70万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	11	504	3705	1:3:7:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
8.	9:2	2:0:9		1:10:0
	法人主体の活動だけではなく、地域住民が主体となった活動が積極的に行われている。法人主体の活動としては、予防教室や介護教室など健康関連事業が多い。それぞれの活動が毎週もしくは毎月実施されており、参加者数は10名前後となっている。住民主体の活動としては、パッチワーク、フラダンス、川柳などサークル活動が主体となっており、参加者は主に主婦層がメインとなっている。			
	7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。	
	開館曜日	月～土（日休み、年末年始、祝日休み）		開館時間 10:00～17:00
	開館時の職員の常駐場所	小規模多機能、病院内		
	毎月の延利用者数	約160名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況		実施している	
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無		有	
	名称)ほのぼのよか会			
	独自の交流拠点事業		実施している	
	対象者)高齢者向け、多世代向け		参加形式)事前登録・登録不要の双方ともあり	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態		事前予約が必要・空いていれば利用可	
	不定期の利用回数		未回答	
	常時運営している有料のレストランや食事処		有	
提供内容	喫茶のみ	利用者数	未回答	
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場		有		
提供内容	未回答	利用者数	未回答	
ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約8名/月	
送迎の有無		無		
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)		有		

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約5名	校区活動経験	有(経験豊富)
	校区での立場 校区社協長、民生児童委員、ボランティア			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携ができていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている 地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	広報誌などを通じて、ボランティアや運営に関わる人を募集している。 併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

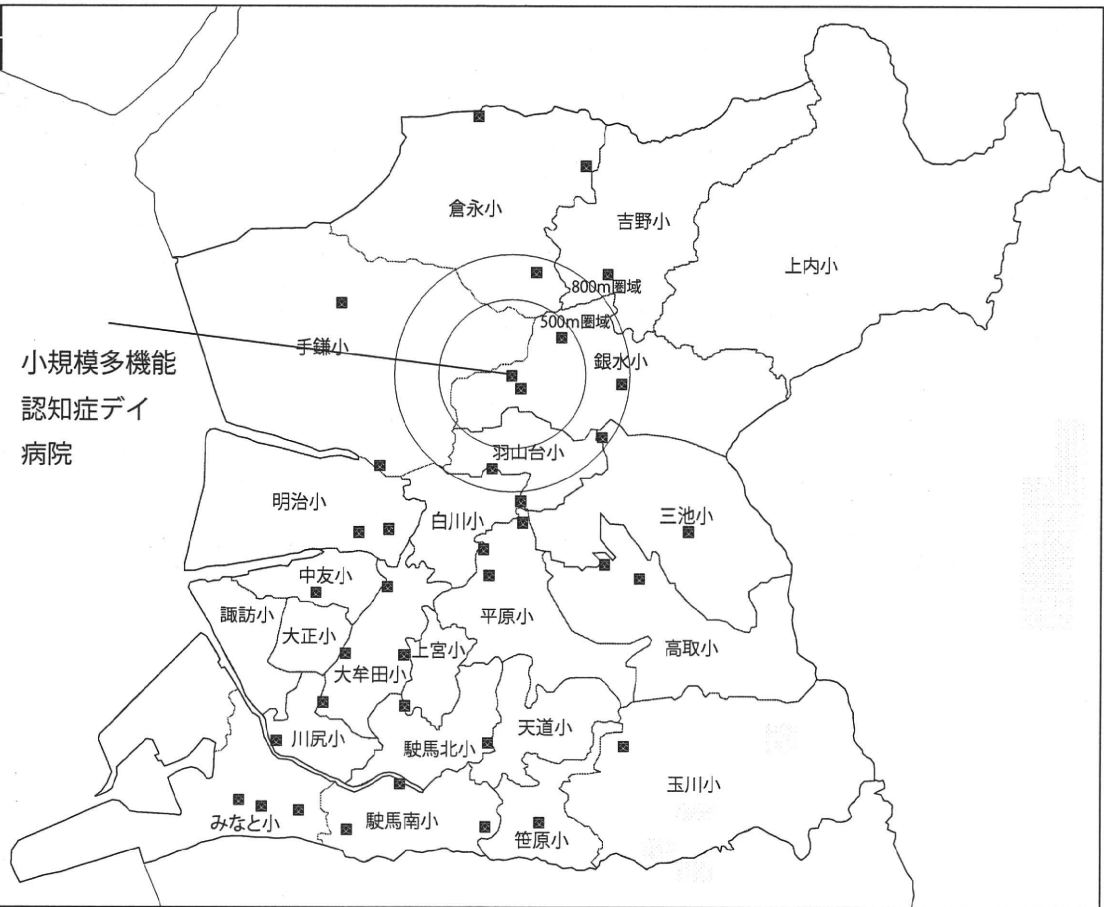
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		無	

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	徘徊模擬訓練等にて、一緒に活動する機会が他の交流拠点とあればと思う。			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	地域づくりにはかせない役割と思うので、これからも共にまちづくりができればと思う。			

大牟田市全域
1 : 25000

コムーネ
併設機能 小規模多機能
認知症デイ
母体施設 病院



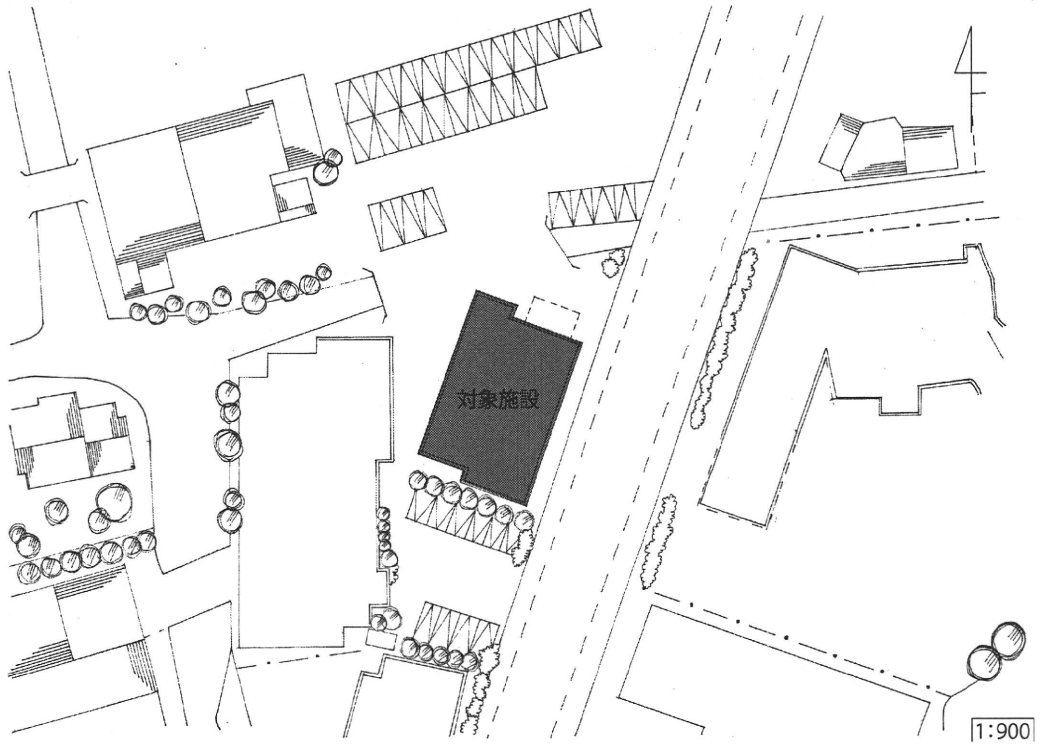
銀水小校区
1 : 8000

コムーネ
併設機能 小規模多機能、認知症デイ

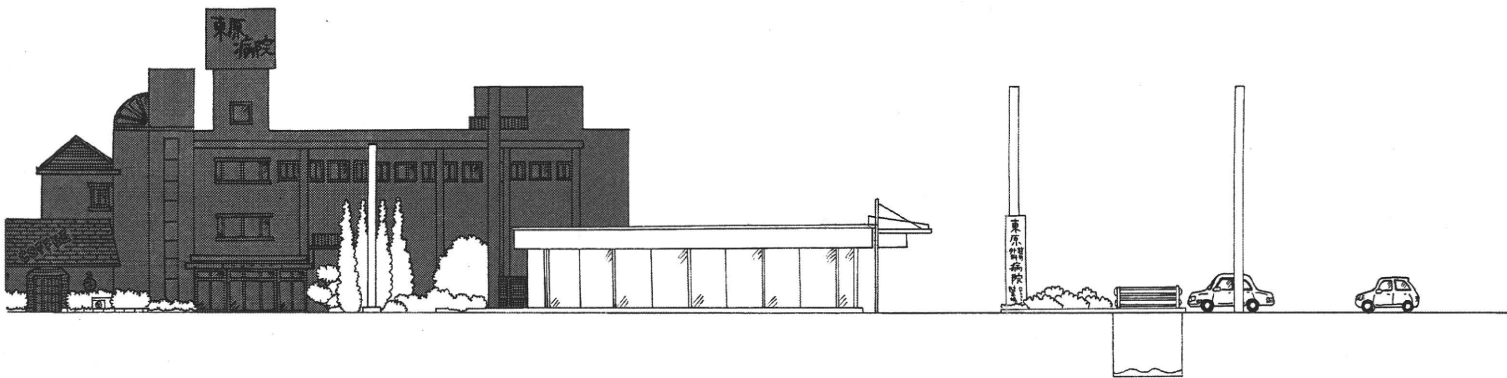


圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	4個
コンビニ	1個	3個
神社・寺	3個	7個
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	4個	8個
スーパー	1個	2個
公民館	2個	4個
小規模多機能型居宅介護		
学校 (黒○は小学校)	2個	5個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	4個	8個
幼稚園・保育園	1個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター	1個	1個

人口	10739人	老人クラブ加入率	6.10%
65歳以上の高齢者数	2802人	公民館加入率	30.9%
単身高齢者世帯数	753人	投票率	57.3%



コムーネ 配置図



コムーネ 南東側立面図 1/400



地域交流拠点

地域交流スペース面積：314.00㎡

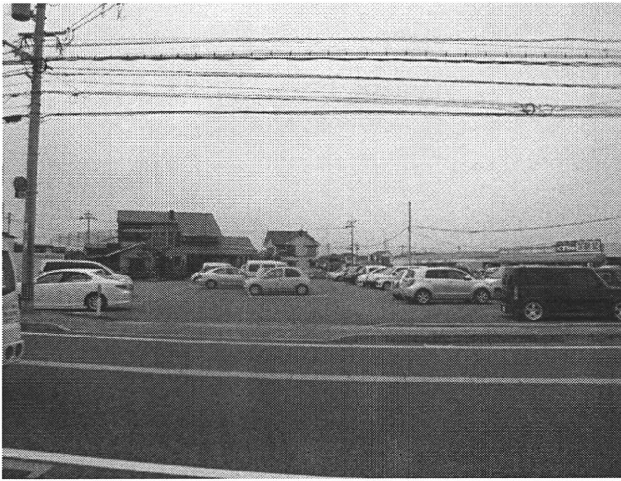
コムーネ平面図 1/150



①左側 交流拠点、中央 小規模多機能



②交流拠点外観



③小規模多機能（中央奥）



④交流拠点の写真



⑤周辺写真



⑥母体病院

校区	銀水校区	交流拠点名	済生会大牟田地域支援センター
		法人名	(社福)恩賜財団済生会

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年4月開設		
	整備手法	新規建設		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1900万円(うち補助金額750万円)		
2.	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一建物内にあるもの	介護老人保健施設		
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない		
	その理由:建築については良いが、立地にしては、少し見えにくい。			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	4名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	施設ケアマネ	老人保健施設との兼務
	2人目	兼任	管理栄養士	老人保健施設との兼務
	3人目	兼任	介護福祉士	老人保健施設との兼務
	4人目	兼任	未回答	老人保健施設との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:32万円	支出:(材料費 10万円)	
	交流拠点の家賃	未回答		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	4	49	796	1:3:0:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	3:1	2:0:2		0:3:1
定期的な活動は、市からの委託事業であるよかば〜い体操と、法人主体による栄養教室や介護教室である。いずれも毎週水曜日に開催されており、1回あたりの参加者は10名から20名である。また、年1回のお花見会なども実施されている。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～金	開館時間	9:00～16:00
	開館時の職員の常駐場所	老人保健施設		
8.	毎月の延利用者数	約100名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無 名称)よかば〜い体操			有
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け、多世代向け		参加形式)双方ともあり	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			2回/月
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容			利用者数
	ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能 大牟田市長寿社会推進課、大牟田社会福祉協議会等に配布			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約2~3名	校区活動経験	経験豊富な人も、豊富ではない人もいる
	校区での立場	民生児童委員・ボランティア・一般住民		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	広報誌などを通じて、ボランティアや運営に関わる人を募集している。 事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

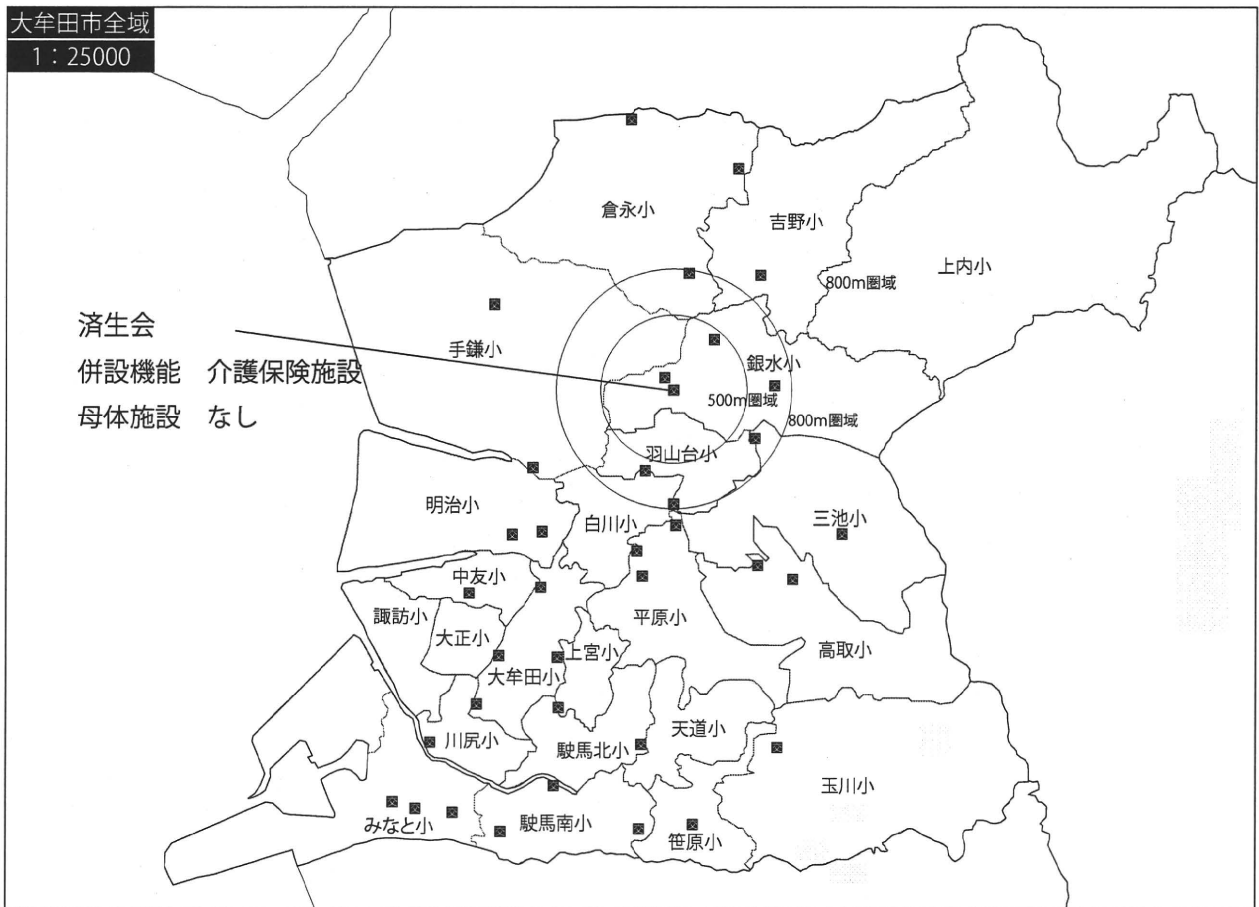
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域

1 : 25000



銀水小校区

1 : 8000



人口	10739人	老人クラブ加入率	6.10%
65歳以上の高齢者数	2802人	公民館加入率	30.9%
単身高齢者世帯数	753人	投票率	57.3%